

# 大原中だより

さいたま市立大原中学校  
TEL 048-831-5397  
FAX 048-835-1357  
**第 9 号**

校 訓 「歴史を拓く」

学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校 令和 2年11月 2日 (月)

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: http://ohara-j.saitama-city.ed.jp/

## 『心痛』

校長 小熊 誠

生徒達の思いの沢山詰まった市新人戦が終了しました。各会場では、今できるコロナウイルスの予防と拡散防止を万全に、全く例年とは違う大会となりました。そんな中、大原の生徒達は本当に多くの制約の中、思いっきり今まで貯めてきた力をぶつけてきました。全ての戦いが胸の熱くなる、痺れる戦いでした。生徒達の笑顔は輝いていました。結果、陸上、水泳、野球、サッカー、女子ソフトテニス、柔道の5つの部活動が県大会に進みました。すでに県大会が終了した部活もあり、陸上は入賞者を出し、野球はベスト8に駒を進めることができました。これからの勝負に大きな弾みとなるはずです。なお、唯一全国大会が開催できた陸上では、四種競技という種目で全国4位の成績も収めることができました。いよいよ大原の生徒達の活躍が始まりました。保護者・地域の皆様、今後の活躍にも御期待ください。

そしていよいよ、大原秋の陣が開幕しました。次の戦いは、合唱です。これも、生徒達は多くの制約の中、クラス心を一つに、あらゆる工夫を駆使して練習に励み、世界に唯一つの、クラス独自の合唱を創り上げてきました。残念ながら保護者・地域の皆様には御覧いただけませんでした。合唱コンクール当日は、会場である市民会館おおみやに、生徒達の歌が、いや歌に魂が込められた言霊が響き渡りました。全身に鳥肌が立ち、体が震えました。私の心に、生徒達の言霊が、染み渡り、体の芯から感動しました。そしてこの日は、3年生の魂を込めた校歌を録音しました。これからのチャイムに使います。大原の歴史に今まで沢山の我慢をしてきた3年生の言霊を刻みます。こちらも御期待ください。

さて、11月は全校3者面談期間です。そこで今号では、『心痛』という話をさせていただきます。例えば、骨折は誰の目にも分かります。だから誰も足を骨折している人に「走れ」とは言いません。ところが、心の痛みは見えません。「走れ」と言ってしまう人がいるかも知れません。でも走れないのに「走れ」と言われた人はどう感じるでしょうか？自分でもどうして走れないのか分からない場合もあります。また例え理由が分かり、「心が痛いので走れません」と言っても誰の目にも見えません。理由も分からず、例え理由を言っても分かってもらえず、心の痛み『心痛』は、さらに深く深く進行していきます。普通、人は、自分の体の健康を心配し、喉が痛かったり、咳が出たり、腰が痛かったり等、体にチョットした違和感を覚えたら医者に相談したりします。また、癌のように知らないうちに体を蝕んでいく病もあります。そこで人は、定期的に健康診断を受け、その結果を受け薬をいただいたり、治療にはいったりします。では、心の痛み『心痛』は、どこで気づき、どこに相談し、どこで治療すればいいのでしょうか？私は、その一つが学校で定期的に行っているアンケートであり、面談であると考えています。是非今回の全校3者面談も有効に御活用いただければ幸いです。そして心のチョットした違和感とは、夜眠れなくなったり、朝起きるのがきつくなってきたり、食欲がなくなったり、挨拶や返事の声が小さくなったり、昼でも眠くなったり、集中できなくなったり、今まで好きだったことが嫌になってきたり等の症状だと捉えています。もし生徒達がそんな症状を自覚したら、喉が痛くなったら医者に相談するように、相談することが大事になってきます。また、周りの誰かがそんな症状に気が付いたら、本人に声掛けをすることも大事になってきます。生徒達にとって医者とは、身近にいる信頼できる大人であり、周りの誰かとは、信頼できる大人であり友達だと思います。まずは、信頼できる大人であり友達が相談しやすい環境を創ること、そして、心のチョットした違和感を感じ取る感覚を研ぎ澄ますこと。これが大切になります。特に友達からの声掛けは、何よりの薬になるはずです。そして信頼できる大人とは、私達教職員はもとより、保護者・地域の皆様を含めたチーム大原であるはずです。まず私達チーム大原が、生徒達にとっての信頼できる大人である必要があります。その上で正確に情報を共有し、予防・治療方針を定めていかななくてはなりません。見えない敵『心痛』を撲滅するには、予防と早期発見・早期治療が一番です。私達チーム大原、生徒達を守り、磨き、輝かせるために、心を一つに尽力して参りましょう。どうぞよろしくお願いいたします。



希望の登校 笑顔の活動 満足の下校